

愛荘町立秦荘幼稚園

日時：平成21年11月13日(金) 13:00～17:00

平成21年11月16日(月) 9:00～17:00

場所：愛知県愛荘町安孫子1210番地1

秦荘幼稚園から農道を渡った所に昨年まで使用していた旧園舎があり、園庭はすでに雑草に覆われて何種類かの生き物や藤棚・実を付けているどんぐり・桜・柿などの樹木、そのほか橋の架かった水のない水路や築山、遊具などが点在しているフィールドを活かしたプログラムを作りました。

(対象：年長31名)

1回目は講座、下見とプログラム作り、2回目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。

講師 島川武治(しまっち)さん

今回の講座では「幼児期における自然体験のめざすもの」について学びました。

地元の自然を楽しむ

心に残る体験をすることで、地域を好きになり、自然を大切に思う気持ちが養われる。

自然体験をする

五感を意識して使い自分の感性をみがく。

生命や生き物と接する

命の大切さを考えていくきっかけができる。

自分で考え行動できる力

自主的に考えて、行動できる力(生きる力)が芽生えるなど、さまざまな力を培います。

このように自然体験を通じて、地元や自然を大切にする大人に成長するでしょう。と話されました。



下見：ルーペで虫の観察

下見：葉っぱの草笛に挑戦



「勝って 集めて ハッピー」のプログラム

3種類の木の実(グー)、枝(チョコキ)、葉っぱ(パー)を拾って「じゃんけんゲーム」をします。勝ったら相手が負けたものをもらい、自分たちの陣地のお皿に入った数を競い合うゲームです。最後にお皿にある自然物で、砂の土台に飾り付けをしてケーキを完成し、今月生まれの友だちにハッピーバースディを歌って、みんなをハッピーな気持ちにする。ふりかえり説明で、葉と木の実と枝に命のつながりがあることに気づくプログラムです。

木の実・枝・葉っぱを拾ってきたよ!



ケーキの完成!



ケーキでハッピーバースディ ツーユー!



おいそ
うなケ
ーキ作
るう
ね!



葉っぱで
じゃんけん・じゃんけん・ぼん!!



じゃんけんで勝って集めたんだよ

自然の木の実・枝・葉っぱの実物を使ってふりかえりをしました。「実が落ちたらどうなるの?」という問いかけに、子どもたちからまた芽が出て「自然は繰り返す」という言葉が出て、命のつながりについて伝えられたように思いました。

「秋をさがそう！」のプログラム

大きなカードに書きたいくつもの自然物を、グループの友だちと一緒にさがすゲームです。見つけてきたものを子どもと一緒に確認して、子どもの発見、驚きに共感したり、大変だったこと、疑問に思ったことなどを考えたりして、秋は冬をむかえる前の大切な準備をしている季節であることに気づくプログラムです。

何個見つかったかなあ？



グループに分かれてさがしてね！



小鳥のなき声聞いた？



カエルどこかで見た？



たくさん集めたよ！！



日常では見ているようでなかなか気づかないが、意識をして見てみるとたくさんの自然の物や生き物などがいることに気がつきます。意識をして五感を使うことの大切さに気づかれました。

「モリモリ森のうんどうかい」のプログラム

どんなものが玉になるか問いかけて探させ、地面に描いた円の外から、中心の的に投げ入れる「玉入れ」をします。次に、クジを引いてタッチする木の種類を選ばせて「リレー」をします。最後に、落ち葉などの自然物を入れた箱にひもをつけて、みんなで引っ張って「くす玉割り」をします。自然の中には、色々な感触があることに気づくプログラムです。

くす玉割りするよ！イチ・ニノサン！！



うまく入れ！



うまく入るといいね！



なに色が出るかな？



がんばって走らなくっちゃ！！



玉入れでどんな自然物の玉がよく入るかななどのふりかえりをしました。どんぐりの実・どんぐりのぼうし・木の枝・葉っぱ・草などの意見がよく出ました。また自然の物にはいろいろな色や形、大きさやにおい、手触りの違いなどについても楽しく話してくれました。

自然体験学習は、自然を大切にするということ以外に多くの「命のつながり」によって人は生かされているということも、子どもたちへのメッセージとすることができるでしょう。また、これで終わるのではなく、参加された支援者の方は、園に帰って実践していくことが大事です。そして園の他の先生や保護者の方々に伝えていくという大事な役割があります。